

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 山鹿市 (都道府県: 熊本県)

本事業の担当部局名 市民部地域生活課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業				
区分	一般メニュー				
関連事業メニュー	1.1.2 結婚希望者の出会いの機会づくりを目的としたイベント・スキルアップセミナー				
個別事業名	婚活支援者研修及び婚活セミナー付イベント開催事業	新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規		
実施期間	令和6年4月1日	～	令和7年3月31日	事業開始年度	年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	1,210,000				円
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通 本市の未婚率は、全国と同様に上昇傾向にあり、20代では全国平均を下回っているものの、30代では上回っている状況。【H27→R2 20代:全国79.7%→80.8% 市74.3%→75.2%、30代:全国34.8%→34.8% 市34.1%→35.7%】 未婚者(25歳～34歳)が独身でいる理由は、「適当な相手にまだめぐり合わない」が男女とも4割超で最も多い(R3出生動向基本調査等)ため、本市においては、世話人が結婚希望者の縁結びを支援するとともに、出会いの場を提供するイベントへの助成等により、婚活を支援している。 一方で、若年層が結婚を躊躇する大きな要因の一つとして、経済的不安も挙げているため(R4少子化社会対策白書)経済的不安の解消を図る必要がある。 (当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) <当年度の少子化対策の全体像> ※全事業共通 本市の総合戦略基本目標Ⅱ「明日の幸せを語れる暮らしをつくる」に掲げられているとおり、市民一人ひとりが将来に対する夢や希望、明日の暮らしを明るく語れる地域社会の構築を目指し、結婚や出産、子育て環境の充実を図ることで少子化対策に資する取組として実施。 <本個別事業の位置付け> 本事業は結婚を希望する方への支援に位置づけられ、世話人確保を促すための効果的な研修会と婚活に必要な社交スキルを身につけるための婚活セミナー付きイベントを開催する。 (過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ))				
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	結婚支援に興味がある人を対象とした研修の実施	本市独自の結婚支援事業(結婚を希望する登録者に担当制で結婚支援を行う世話人がおり、お見合いの機会の醸成や婚活等の相談に対応)を実施しているが、世話人は、登録者の繊細な感情を扱い、コミュニケーションスキル等が必要となるため、適切な人材の確保が困難な状況である。そこで、世話人に加え、結婚支援に興味のある人を対象に、婚活サポートの方法等の研修会を実施し、研修参加者に世話人の業務を紹介することで世話人の人員確保(発掘)に繋げるとともに、地域の結婚支援者のスキルアップを図る。 結婚支援者研修は以下内容で実施 1回以上実施し、本市の結婚支援事業の世話人及び結婚支援に興味がある人(まちのよかボス、よかボス企業、婚活イベントを実施している団体等)を対象とする。参加予定人数 50名 【研修内容】 ①婚活イベントでのコミュニケーションの取り方や、相手を理解するためのリスニングスキル ②結婚を希望する人々の心理を理解し、適切なアドバイスを提供するためのカウンセリングスキル ③適切なパートナーを見つけるためのマッチングの方法や、恋愛・結婚における相性の良さを判断するための知識 等		○
2	婚活セミナー付きイベントの実施	20、30、40代の山鹿市民の結婚に対する意識改善と自己のスキルアップ(身だしなみ・コミュニケーション等の改善)を図ることで婚活・結婚に対するハードルを低くし、一歩を踏み出すきっかけを用意する。 婚活セミナー付きイベントは以下内容で実施 婚活に必要な知識を学ぶための男女別セミナーと男女が交流できるイベントを実施する。セミナーを男女別に実施することで、より実践的なアドバイスを参加者に提供する。また、婚活イベントの専門知識と経験を持った業者へ委託することで、効果的なイベントの企画や運営、参加者の募集などを行う。 【セミナー内容】 ①婚活の基本的な流れや注意点、成功するためのポイント ②相手との良好なコミュニケーションを取るためのスキル ③相手の性格や価値観を理解し、自分との相性を見極める方法 等 なお、イベント参加者は上記の結婚支援者研修を受講した世話人のフォローを受ける体制とする。 イベントを1回以上実施し、参加予定人数は、男女各25名(合計50名)とする。 ※なお、対象経費には飲食費や体験料など、交付金対象外経費は含まれていない。		○	

【次年度以降に向けた事業の方向性】 婚活支援者の研修を実施し、婚活支援の磨き上げと世話人の人員確保を図り、地域の婚活の普及や啓発につなげることで、婚活等で悩んでいる結婚希望者を支援できる体制を継続していく。 また、婚活セミナー付きイベントを実施し、イベント参加者のスキルアップを図ることで、婚活イベントでのカップルマッチング率の向上に繋げ、婚活イベントを通じて山鹿市結婚支援事業を多くの人にPRすることで、事業の認知度を向上させ、新規登録者を確保していく。 【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 無し						
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値	
	合計特殊出生率		%	1.7 (2024年度)	1.65 (2013年～2017年)	
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績		
	合計特殊出生率			1.65 (2013年～2017年)		
	婚姻件数		件	175 (2022年)		
	婚姻率			3.4 (2021年)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	事業内容番号	KPI項目		単位	目標値	現状値
		項目				
		(アウトプット)				
		1	山鹿市結婚支援事業登録者間成婚者数(令和7年度)	人	8	5 (令和5年度)
		2	山鹿市結婚支援事業登録者数	人	200	148 (令和5年度)
		3	世話人数	人	20	15 (令和5年度)
		(アウトカム)				
		1	結婚支援者研修受講者のうち、活動に活かせると回答した人の割合(満足度)	%	80	0
		2	セミナー付き婚活イベントの参加者のうち、参加して良かったと回答した人の割合(満足度)	%	80	0
		3				
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7		本事業の実施にあたっては、県又は他市町村との連携について協議しながら進めていく。				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8		県の「よかボス」登録企業・団体または「まちのよかボス」への情報提供により連携。				

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直前年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。